別紙1

指導方法等の改善計画について　　三原市立三原小学校

1　課題と取組について

本年度の結果について

〇取組の成果と課題
　昨年度の結果では算数では「情報の関連付けと解釈・表現及び判断（17.8%）」について課題があった。そこで，実生活から数字を取り出し，グラフ化して比較し，説明する活動を行った。その結果，一定の定着が見られた。
〇本年度の調査から明らかになった課題
　本年度の算数の「示された計算の仕方を解釈し，減法の場合を基に，除法に関して成り立つ性質を記述すること」（正答率40.0%）や，国語の「目的や意図に応じて，自分の考えの理由を明確にし，まとめて書くこと」（正答率55.7%）に課題が見られる。

課題克服に向けた重点取組

〇全校での取組について
・各教科において，問題解決の見通しや目的に応じて自分の考えを記述する場面を設ける。
・各学年の発達段階にあった条件作文を書かせる。
〇授業改善について
・アクティブノートを活用して自分の考えをまとめ，友達の意見と比較しながら，相違点を発表したり要旨を書いたりする指導を行う。
・毎時間書く活動を取り入れる。

2　本年度の結果（全国）

教科	国語	算数
目標値 （対県比%）		
結果 （対県比%）	78 （118%）	75 （110%）

3　取組の計画

平成31年度　2学期

【全校での取り組みについて】
・全職員で問題を解き，正答率の低かった問題の誤答分析を行う。
・各学年のどの単元と関連する内容かを共有し，2学期から全職員で取り組む。
・「標準学力調査」に対応した問題を，朝学習や桜山タイムで行う。
・与えられた条件で書く力をつけるために，えんぴつタイムで継続して取り組む。

【授業改善について】
・国語…多くの情報の中から必要な情報を的確に取り出し，内容を理解する手立てとして，大事な言葉や文章に線を引いたり，箱で囲んだり，動作化したりして，内容の大体を理解する力を付ける。そして，自分の考えとその理由を明確にして書くことができるようにする。
・算数…授業で解釈し，文章化したことを基に，数値などが変わった場合に同じように記述し説明することを意識的に取り入れた授業を行う。

平成31年度 3学期

【全校での取り組みについて】
・ノート展覧会を行い，アクティブノートのモデルを共有し，ノートの質を高めていく。
・校内漢字検定，算数検定を実施し，基礎学力の確実な定着を図る。
・全職員で標準学力テストの問題を解き，正答率の低かった問題の誤答分析を行う。
・各学年のどの単元と関連する内容かを共有し，来年度に向け全職員で取り組む。

【授業改善について】
・1月の校内授業研究において，本校の国語における課題に対応した授業を実施する。
・教員の授業改善のためだけでなく，児童の学ぶ姿勢も学ばせるために，校内授業参観を行う。

4　次年度の正答率（全国）

教科	国語	算数
目標値 （対県比%）	105%	105%
結果 （対県比%）		

5　取組の振り返り

〇効果のあった取組

〇改善していく取組